

学校概要

創立 71 周年	学校長 根岸 淳	副校長 渡辺 寿也	学期 3 学期制	児童・生徒数 595 人
学級数 一般級: 16 個別支援級: 4			主な関係校: 市場小学校・平安小学校	

学校教育目標

【知】未来を開く学習意欲
 【徳】広い心でつなぐ想い
 【体】市伸動体
 【公】深めよう地域との繋がり
 【開】ハッシン！市場の伝統
 *いのちを大切にし、温かく思いやりあふれる豊かな心と健やかな体で、自ら学び続けることのできる人を育てます。

学校の特徴

- 学校と地域の連携が大変深く、地域の中の学校として信頼されている。
- 小中一貫ブロックの生徒・職員の交流・連携が大変良い。
- 市場祭や資源回収をはじめ、保護者・地域・学校が連携して行う、特色ある行事が多く、生徒の活躍の場がある。
- 部活動全入制を取り入れ、学校全体で生徒の活動を支援し、生きる力を育成している。
- 生徒の学習意欲を高め、分かる授業の更なる実践が必要である。
- 生徒のコミュニケーション能力を高め、適切に自己表現ができる生徒の育成が必要である。

学校経営中期取組目標

○学校教育目標を実現し「誰もが、安心して、豊かな生活」ができる笑顔あふれる学校づくりを目指します。
 ・保護者、地域、学校の共通理解を図り、高い連携力を柱とした協働による健全育成を今後も一層進めます。
 ・基礎基本の確実な定着を図り、生徒の学ぶ意欲を喚起するような指導方法の工夫・改善を目指します。そのため、研究研修部を軸とした組織的・計画的な研究や研修を企画し、授業力向上を目指します。
 ・体験活動を充実させ、生徒の活躍の場を増やし、生徒一人ひとりが自尊感情を高め、いのちを大切にする心を育む教育活動に取り組みます。

小中一貫教育の取組

a5 ブロック : 市場中学校・市場小学校・平安小学校

9年間で育てる子ども像	地域の一員としての自覚をもち、社会で生き抜く力を身につけている人。いのちを大切に、温かく思いやりあふれる豊かな心と健やかな体で、自ら学び続ける人。
自校の具体的取組	小中一貫ブロック内小学校の教育活動と、児童に育まれた力を十分に理解し、中学校のカリキュラムをPDCAサイクルに従って改善し、生徒の育成を推進します。児童・生徒の小中交流を一層推進し、安心して中学校に進めるように取り組みます。

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力	「わかる」授業を実践し、生徒の基礎基本の定着を目指します。数学・英語の少人数指導を推進し、個に応じた指導実践を目指します。	①研究研修部を軸とした校内研修・研究を行い、授業力の向上を図ります。②視聴覚教材を活用し、「わかる」授業を追究していきます。③少人数指導における指導内容、評価等、情報共有を的確に行い、個に応じた授業実践を目指します。④まとめる、発表する等、自己表現力を高め、コミュニケーション能力の向上を図ります。
豊かな心	自尊感情を高め、いのちを大切にする心を育みます。「いじめ」「差別」を許さない心を涵養します。	①肯定的な自己認識を育む、日常的な「いのちの教育」の実践を図ります。②人権作文・人権標語・福祉活動等、体験を通じた人権意識の啓発を図ります。③全校道徳をはじめ、道徳教育の充実を図ります。
健やかな体	運動の楽しさを実感させ、自ら運動に親しむ態度を育てます。	①「できた」を実感させる保健体育授業の実践を目指し、自ら運動に取組む態度を育てます。②新体力テストの結果を活用し、生徒一人ひとりが自己の状況を把握し、課題克服に向けた目標に向かって努力する体験を通し、心と体の成長を図ります。③「運動の部」の活動を通し、仲間と協力して努力する態度を育てるとともに、心の成長を図ります。
生徒指導	生徒指導体制の充実を図り、個に応じた指導実践を行い、生徒の自尊感情を高め、社会で生き抜く力を育成します。	①日常的な教育相談を行い、生徒の状況把握を的確に把握し個に応じた指導を行います。②体罰の根絶による毅然とした指導と心情に寄り添った指導を行います。③生徒を「認める」「褒める」場面を積極的に作り、自尊感情を高めます。④保護者・地域と連携し、多面的に生徒の状況を把握します。
地域連携	「まちの学校」を意識し、積極的に連携を図ります。生徒が「まちの一員」としての自覚を高め、積極的に地域貢献ができるように育成します。	①本校独自の「資源回収等地域ボランティア」に生徒・職員が積極的に取り組み、「まち」と「学校」の一体感を高めます。②地域行事に積極的に取り組み、地域の一員としての自覚を高めます。③学校評議員や地域と協働した学校づくりを推進し、学校力を高めます。
特別支援教育	支援が必要な生徒の状況を共有し、個に応じた指導実践ができるようにします。また、関係機関との連携を推進し、支援の充実を図ります。	①特別支援コーディネーターを軸としたケース会議を定期開催し、生徒状況の把握・共有を確実にし、生徒理解を深めます。②スクールカウンセラー、区子ども家庭支援課、児童相談所等との連携を図り、個に応じた課題解決を図ります。③日常的な教育相談を実践し、支援の充実を図ります。
環境整備	校舎内外の危険箇所を早期に把握し、生徒の安心・安全を守り、より良い学習環境を整えます。	①安全点検を定期的に行い、状況把握に努め、状況に応じた早期対応を図ります。②生徒の清掃活動を大切にし、校内美化に努め、学習環境を整えます。③美会員を中心に、花壇を整備し、校内の緑化を推進します。
いじめへの対応	生徒にいのちの大切さや人権を尊重する豊かな心を育むとともに、職員の組織力を高め、いじめの未然防止や早期発見に努めます。	①いじめ防止対策委員会の機能を充実させ、いじめの未然防止・早期発見に努めます。②定期的なアンケートや教育相談を通じて、生徒の実態把握といじめの未然防止・早期発見に努めます。③職員研修を通じて、いじめの未然防止・早期発見・解決のための技能を身につける。
人材育成・組織運営	職員相互の授業見学を推進し、授業力・教師力の向上を図ります。メンターチームの活動を充実させ、ミドルリーダーの活性化を図ります。	①研究研修部が中心となり、定期的にメンターチームを開催します。個に応じた課題に向き合い、授業力・教師力の向上を図ります。②職員相互の授業見学を推進し、見られやすい、見に行きやすい雰囲気づくりに努め、授業力・教師力の向上を図ります。